

..... 編集後記

◆ 2010年の新しい年を迎えました。気持ちはおめでたいのですが、私たちを取り巻く諸環境は例年になく厳しいものです。一朝一夕には改善されませんが、地道にしっかりと前向きに進んでいきましょう。年頭に当たっての加藤GSJ代表の巻頭言は如何でしたか。私たちのこれまでの活躍・実績、ならびに今後の意気込みと活動に、読者皆様方のご理解とご支援・ご協力をお願いしたいと思います。さて、今月号は「貯留層変動探査法の目指したも」という特集で、当該分野の研究開発を長年リードしてこられた石戸氏の産総研退職を機に昨年開催されたミニシンポジウムの総括となっています。

◆ 今や、温暖化対策、エコ、省エネ、環境に優しい、といったキーワードが様々な分野で使われています。昨年には首相の国連演説でも温室効果ガスを2020年までに1990年比で25%削減する目標が示されました。地熱エネルギーもそれに関係する話題の一つですから、もっとクローズアップされて然るべきです。四半世紀前には「新エネルギー」としてもはやされたものの、その後はあまり表舞台に出ることも少なくなりました。しかし、小資源の我が国において地熱エネルギー資源は世界第3位というすばらしい立地条件にありますので、その実態把握と利用技術等の開発は重要な課題です。本特集号ではこれまでの総括をして、今後の進展を期待しています。

◆ 初めに石戸氏ほかで紹介しているシンポジウムの概要と変動探査法全体の説明は如何でしたか。地熱やモデル、探査技術等に疎い方には幾分戸惑いがあるかもしれませんが、評価法やプロジェクトの経緯等を分かり易く解説しています。

◆ さらに、実際の現場状況について各地の地熱フィールドから報告を頂きました。安達氏は福島県奥会津の地熱発電の状況と今後の対応を、有木氏ほかは秋田県澄川地熱発電所における地熱貯留層管理の現況と課題について述べています。一方、東京都八丈島では、地熱開発と温泉開発、農業利用が行われ、国立公園区域内での開発事例を松山氏ほかが解説しています。どの事例でも地熱フィールドの特質がにじみ出ていて、理解も深まったことでしょう。

◆ 地熱資源には熱水型と蒸気卓越型とがありますが、蒸気卓越型地熱資源の実態とその歴史的理解に迫る花野氏の解説は如何でしたか。専門外の方々にも気軽に理解できたことでしょう。また、「正当な思い違い」という言葉は、研究者の心に残りますね。続けて、一見均質に見える火山でもその内部構造には大きな変化があるという相澤氏の研究紹介は如何でしたか。見えないものが見えてくるという楽しさが実感できたでしょうか。さらに、絶対重力測定器およびその測定現場の様子を紹介した杉原氏の記事は、計測を行う業務をしている方にはよく理解できるでしょう。個々の装置に番号がついている様は、まさに名前を付けたペットのように親しみを感じ、繊細な装置に対する愛着のほどがうかがわれます。

◆ 最後は地質標本館で行われている地層体験学習に関する一般記事で締めくくりです。子供達から創造力を引き出そうとする玉生氏の努力が読み取れます。

◆ 前月号のp.7, 12において平野英雄氏とあるべき箇所文字の誤りがありました。同氏ならびに読者の皆様に深くお詫び申し上げますと共に訂正致します。今年もまた宜しく願い申し上げます。(金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 渉

委員：重松紀生・杉原光彦・中嶋 健・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース

第665号 2010年 1月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2010年1月1日 発行

編集

発行人

発行所

産業技術総合研究所

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2010 Geological Survey of Japan